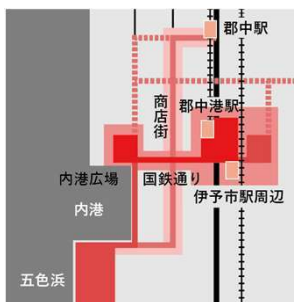


4-5 ステップ③：公民連携で歩いて楽しい地区を形成

ステップ③

「まちなかと海を結ぶ軸」をまちなか回遊の骨格として公民連携で歩いて楽しい地区形成を図る

- 「まちなかと海を結ぶ軸」の人の流れを強化すべく、公民連携による沿道建物のリノベーション等による活性化や歩きやすい道路空間整備など、歩いて楽しい回遊できる地区形成を目指します。
- 公民連携の取組みを広げ、五色浜や商店街、駅東の住宅街などに人がいる風景を広げていきます。



E JR伊予市駅 駅東広場・自由通路



■子育て世代の集う広場

- 住宅開発の進む駅東側では、子育て世代が利用しやすい公園の整備を検討します。

■駅東西を結ぶ自由通路

- 駅西側での拠点形成と連携し、「まちなかと海を結ぶ軸」を駅東側へとつなぐ自由通路の整備を検討します。



F 内港遊歩道

■内港沿いの散策路

- 内港の護岸改修等を契機として、内港広場から五色浜に至る遊歩道の整備を検討し、回遊性向上を図ります。
- 遊歩道の整備を契機として、内港沿いの低未利用地の活用を促進し、港町らしい景観をいかしたエリア形成につなげていきます。



H 五色姫海浜公園

■にぎわいの拠点となる海辺

- 海や夕日の風景など、地域内外の来訪者を引き付ける魅力があります。
- 駐車場の収容台数も多く、アクセスが良いため、拠点形成が期待されています。
- 今後は公民連携による常設の収益施設等の設置・運営、広場のイベント活用・広報活動への支援など、園内の利活用の促進を検討します。



J まち歩きサイン

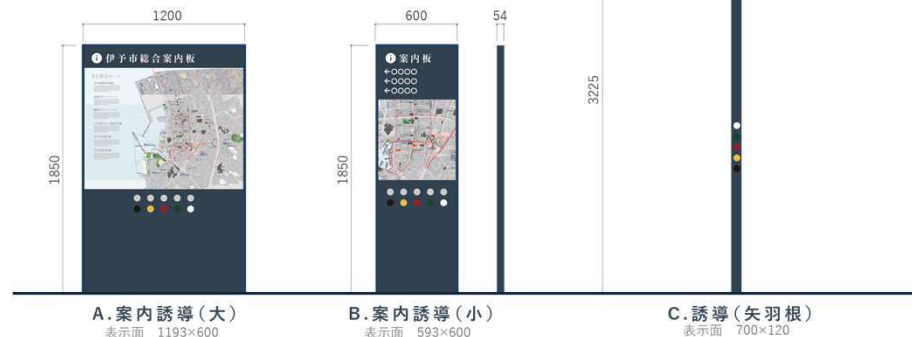
■市民参加で検討したサインの役割

- 令和5年度のWSにて、まち歩きルートやサインを通して発信したいまちの魅力から議論を行い、配置・デザインを検討しました。

■郡中らしさを発信するための配置・デザイン

- まち歩きルートを念頭に、回遊性向上につながる箇所に戦略的に配置を行います。
- 盤面はWS参加者の意見を踏まえ、伊予灘の海をイメージした「青色」とし、アクセントに五色姫をモチーフとした五色の円を用いています。
- 景観計画の重点区地区内に設置されることも念頭に、周辺環境との調和を図る色彩としました。
- 今後は配置戦略に基づき、順次設置を進めていきます。

本体塗装色	日塗工:75-30D
マーク	漆黒 3M:SC501 (ブラック)
	深緑 3M:JS1702XL (ナイトフォレストグリーン)
	茜色 3M:JS1211XL (メランコリーローズ)
	山吹色 3M:JS6107XL (サンライズイエロー)
	白 3M:SC001 (ホワイト)



G 五色浜公園周辺

■多世代が楽しめる公園

- 古小川の改修を契機として、五色浜公園周辺の各施設の連携した活用を図ります。
- 施設間での回遊を促すよう、利用者にとって分かりやすい動線を整理します。
- 施設間の機能分担を検討し様々なアクティビティが可能で多世代が集える場の創出を目指します。



I 商店街 (旧広島銀行活用を含む)

■歩いて暮らせるエリア形成

- 旧広島銀行をはじめとする商店街内の市有地や低未利用地について、子ども・親子で楽しめる公園・広場としての活用を検討します。
- 出店希望者を受け入れるハード・ソフトの環境整備を検討します。
- 通過交通の抑制、車両の速度抑制に向けた道路の改良を検討します。

